2026 年 5 月 11 日

2026 年日本スポーツ体育健康科学学術連合第 6 回大会

■テーマ：気候変動とスポーツの持続可能な関係づくり

■設定の趣旨

気候変動は、スポーツを営む自然環境に大きな影響を与えてきている。その影響は、オリンピックに代表されるハイパフォーマンスを競う大会のみならず、熱中症特別警戒情報（熱中症特別警戒アラート）による日常生活への影響にみられるように、学校で行われている体育授業や運動会や学齢期の児童、生徒の競技対策にも及んでいる。その結果、誰もが安全に運動する機会が抑制されていくリスクが高まっている。

このような現象のもとでスポーツを営む場合、その安全で、持続可能な環境整備について検討していくこととともに、気候変動に対応したスポーツの具体的な実施方法についてもまた、検討していくことが必要になる。このような気候変動に対応する安全なスポーツ実施に対する検討は、スポーツに限らず日常生活全般における気候変動対策への指針の１つにもなり得ると考えられる。

本シンポジウムでは、このような問題意識のもと、多様な関係者が論議する場を設定し、気候変動とスポーツの関係に関する研究成果の共有を通して、長期的視点に立つ気候変動とスポーツの持続可能な関係づくりについて、論議することを意図している。

■主　　催　　日本スポーツ体育健康科学学術連合
　後　　援　日本体育スポーツ健康学会・スポーツ庁（申請中）

■日時：2026 年 6 月 27 日（土）13:00-15:00

■開催方法：対面並びにオンラインのハイブリッド方式
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE　14 階　岸清一メモリアルルーム 3
〒160-0013　東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号
アクセス：https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid161.html

■参加費：無料

■登壇者
司会：岡出美則(日本体育大学)

シンポジスト：

気候変動に対するスポーツ界の取組～先進事例等を中心に～

楠本浩史（環境省関東地方環境事務所）

ハイパフォーマンスアスリートを対象とした熱中症対策

杉田正明（日本体育大学）

環境要因が体育、スポーツ指導時の安全・健康管理に及ぼす影響とその対応策

細川由梨（早稲田大学）

■申込先： https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSewHiLRLRJI7w5MMsWQsGYVnXw-t19nyZ1xUTgIE2fDrCv3Qg/viewform?usp=publish-editor

■締め切り 6月13日（土）

■ お問い合わせ ｜ 日本スポーツ体育健康科学学術連合［ JAASPEHS ］

日本スポーツ体育健康科学学術連合　事務局（三須）

以上